

2014年5月22日

国・地方公共団体・福祉等の分野における
法曹有資格者の活動領域の拡大に関する分科会

国・地方公共団体・福祉等の分野における法曹有資格者の活動領域の拡大に係る現状認識、課題、方策 その後

中央大学・大貫裕之

() から () は、2013年10月30日のメモの項目

() 実行の必要性

法的素養をもつ者に対するニーズの認知 弁護士派遣スキームの実績を積極的に発信していく。

新たな提案

各自治体トップ、関係機関(児童相談所など)の訪問(法的素養をもつ者の有用性の説明、採用への説得。採用に当たっての障害についての情報収集など) 売り込みキャラバン隊

現実の取り組みをマスコミにより広く報道してもらう(マスコミとのつきあい方)

学生、法科大学院生が接する媒体に職域拡大の実際を連載として掲載

職域拡大のプロジェクトの進行管理(見える化)

ニーズの認識とニーズへの対応及び課題の認識のための施策の必要 パイロット事業の実施? 進捗しているか?

国におけるニーズ調査は?

政府の法案提出作用、あるいは議会の立法作用の遂行に当たっての補助機構の充実のために法曹有資格者が必要? 進捗しているか?

() ミスマッチ

自治体等と法曹有資格者のマッチング機関の必要性 進捗しているか?

() 情報共有

各アクター間の情報共有不足 自治体等、弁護士会、法科大学院の意見

交換の場の設定 進捗しているか？

() 法曹有資格者へのサポート

自治体等の求める能力を法曹有資格者に獲得させる試み 法曹有資格者のリカレント教育の一部として対応が始まる(中央大学、慶応大学など)

組織人としての資質、市民に仕える者としての自覚(お客様への対応)の涵養 オンザジョブか？

公務員として勤務する弁護士のキャリア形成への不安 連携事務所の設置か？

() 採用側へのサポート

自治体等が弁護士を採用する際の財政問題 国からの補助？ 複数の自治体による共同採用？ 進捗しているか？

() 法曹有資格者の活動領域の拡大のための法曹像の転換 道半ば